

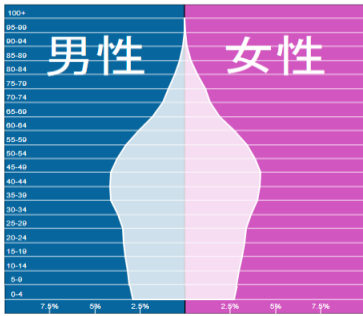


1. 国概要			出典
正式名	タイ王国 (Kingdom of Thailand)		
国旗	位置図		
			①
面積	513,115平方キロメートル(日本の約1.4倍)		②
首都	バンコク		①
人口	6,512万人(2015年) 		③ ④
民族	タイ族(85%)、華人(10%)、その他(マレー人、カンボジア人、インド人など)		②
公用語	タイ語		①
宗教	仏教(94%)、イスラム教(5.0%) キリスト教(1.0%)		②
通貨(為替レート)	1ドル=約34.25バーツ(Baht) (2015年平均)		①
略史	13世紀	スコータイ王朝	①
	14～18世紀	アユタヤ王朝	
	1767年～1782年	トンブリー王朝	
	1782年～	チャックリー王朝	
	1887年	日本との修好条約(国交樹立)	
	1932年	立憲革命	
政治			
政体	立憲君主制		①
元首	マハー・ワチラロンコン・ボディントラテープパヤワラーンクーン国王(ラーマ10世王) (2016年12月即位)		①
議会	二院制 上院:150議席、任期6年。中選挙区制。1県1選挙区76議席、選出委員会による選出74議席。 下院:500議席、任期4年。小選挙区比例代表並立制。小選挙区375議席、比例代表125議席。		③
政府	首相:プラユット・ジャンオーチャー(2014年5月22日のクーデター後、暫定首相、同年8月25日正式に国王の承認を受けて第29代首相に就任) 外相:ドーン・ボラマツウィナイ(2015年8月就任)		①

地方自治制度	<div><div><div>内務省統治機構</div><div>内務省(地方行政局)</div><div>県【76】 県知事は内務省事務次官事務所から派遣</div><div>郡【795】 郡長は内務省地方行政局から派遣</div><div>タンボン【7,145】 地区長は村長の中から住民選挙で選出</div><div>村【61,554】 村長は住民の直接選挙で選出</div></div><div>管理・監督</div><div><div>地方自治機構</div><div>特別自治体(バンコク都) 都知事公選</div><div>特別自治体(パタヤ特別市) 市長公選</div><div>県自治体【76】 長は公選議員から選出</div><div>テッサバーン(市自治体)【2010】 長は公選議員から選出</div><div>タンボン(町自治体)【5,765】 長は公選議員から選出</div></div></div>																							
	<p>中央政府(内務省)からの統治ライン「県＝郡＝区＝村」という地方行政単位と、特別法に基づく自治市町、県行政機構、バンコク都、パタヤ特別市という地方自治体が混在。</p> <p>【県】国の出先機関としての意味合いが大きく、国が県や郡レベルで行う政策</p> <p>【郡】後述するテッサバーン管轄地域以外の住民登録・管理及び郡内全体の治安維持</p> <p>【村】村長は住民の直接選挙により選出され、上部組織には行政区(タンボン)</p> <p>【特別自治体】バンコク都、パタヤ特別市</p> <p>【県自治体(76)】大規模なインフラ整備事業、社会福祉、条例の制定等</p> <p>【テッサバーン(市自治体)(2,440)】域内のインフラ整備、廃棄物処理、伝染病予防等</p> <p>【タンボン(町自治体)(5,337)】テッサバーンと概ね同様</p>																							
	経済																							
	主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。	①																					
	実質経済成長率(%)	<div><div>経済成長率</div><table><tr><th>年</th><th>2005</th><th>2006</th><th>2007</th><th>2008</th><th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th><th>2014</th></tr><tr><td>成長率(%)</td><td>4.2</td><td>5</td><td>5.4</td><td>1.7</td><td>-0.7</td><td>7.5</td><td>0.8</td><td>7.3</td><td>2.8</td><td>0.9</td></tr></table></div>	年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	成長率(%)	4.2	5	5.4	1.7	-0.7	7.5	0.8	7.3	2.8	0.9
年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014														
成長率(%)	4.2	5	5.4	1.7	-0.7	7.5	0.8	7.3	2.8	0.9														
物価上昇率(%)	<div><div>物価上昇率</div><table><tr><th>年</th><th>2005</th><th>2006</th><th>2007</th><th>2008</th><th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th><th>2014</th></tr><tr><td>上昇率(%)</td><td>4.5</td><td>4.7</td><td>2.3</td><td>5.5</td><td>-0.8</td><td>3.3</td><td>3.8</td><td>3</td><td>2.2</td><td>1.9</td></tr></table></div>	年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	上昇率(%)	4.5	4.7	2.3	5.5	-0.8	3.3	3.8	3	2.2	1.9	③
年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014														
上昇率(%)	4.5	4.7	2.3	5.5	-0.8	3.3	3.8	3	2.2	1.9														
名目GDP(一人当たりGDP)(USD)	<div><div>GDP(名目)(USD)</div><table><tr><th>年</th><th>2005</th><th>2006</th><th>2007</th><th>2008</th><th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th><th>2014</th></tr><tr><td>GDP(USD)</td><td>2,708</td><td>3,172</td><td>3,757</td><td>4,110</td><td>3,943</td><td>4,740</td><td>5,115</td><td>5,390</td><td>5,674</td><td>5,445</td></tr></table></div>	年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	GDP(USD)	2,708	3,172	3,757	4,110	3,943	4,740	5,115	5,390	5,674	5,445	③
年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014														
GDP(USD)	2,708	3,172	3,757	4,110	3,943	4,740	5,115	5,390	5,674	5,445														

失業率(%)	<p>失業率</p> <p>2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014</p>	③
総貿易額 (10億ドル)	<p>総貿易額</p> <p>2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014</p> <p>輸出額 輸入額</p>	②
貿易品目	(1)輸出:コンピューター・同部品, 自動車・同部品, 機械器具, 農作物, 食料加工品 (2)輸入:機械器具, 原油, 電子部品	①
主要貿易相手国	(1)輸出:米国・中国・日本(2015年) (2)輸入:中国・日本・米国(2015年)	①

2.日本とのかかわり		出典
大使館	バンコク	⑤
大使	佐渡島 志郎(2014年4月～)	⑤
進出企業数	1,707社	③
日系レストラン数	1,375店舗(2014年12月時点)	⑥
日本企業の投資件数と投資額	件数:451件 金額:1,489億6,400万バーツ(2015年)	③
在留邦人数	67,424人(2015年10月現在)	①
留学生数	1,952人(2013年10月現在) ※研究者・教師を含む	⑩
観光		
訪日旅行者数(万人)	<p>訪日旅行者数</p> <p>2011 2012 2013 2014 2015 2016</p>	③
旅行形態	団体(26.9%) 個人(73.1%)	③

貿易																				
日本との貿易(通関ベース)(100万ドル)	<p style="text-align: center;">日本との貿易</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出(A)</th> <th>日本の輸入(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011</td> <td>37,399</td> <td>24,429</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>43,847</td> <td>23,713</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>36,220</td> <td>22,190</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>31,555</td> <td>21,877</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>27,989</td> <td>20,425</td> </tr> </tbody> </table>	年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)	2011	37,399	24,429	2012	43,847	23,713	2013	36,220	22,190	2014	31,555	21,877	2015	27,989	20,425	③
年	日本の輸出(A)	日本の輸入(B)																		
2011	37,399	24,429																		
2012	43,847	23,713																		
2013	36,220	22,190																		
2014	31,555	21,877																		
2015	27,989	20,425																		
日本の主要輸出入品目	<p>(1)輸出 一般機械(23.2%) 電気機器(15.6%) 鉄鋼(12.8%) 輸送用機器(11.1%) 光学機器、写真用機器等(5.2%)など</p> <p>(2)輸入 電気機器(17.9%) 一般機械(16.2%) 肉類・調製品(8.9%) プラスチック類(5.6%) 輸送用機器(5.1%)など</p>	②																		

3.自治体の活動			出典	
自治体交流				
姉妹自治体	日本の自治体名	タイの自治体名	提携年月日	①
	富山県魚津市	チェンマイ県チェンマイ市	1989年8月8日	
	埼玉県秩父市	ヤトソン県ヤトソン市	1999年5月8日	
	福岡県	バンコク都	2006年2月8日	
トップセールス実績 (渡航通知ベース)	(2016年) 6月 岐阜県(岐阜県PRレセプションの開催等) 11月 滋賀県(セールスコール、セミナー・商談会) など (2015年) 愛媛県(タイセミナー商談会)、千葉県、滋賀県など (2014年) 14道県の知事、副知事が、観光客誘致及び食品輸出促進のためのトップセールスや県内中小企業の進出支援などのためにタイを訪問。			
JET参加者の数(現役)	2名 全てCIR			⑧
JETAA支部	=			
クレア関連事業	●日本ふるさと名産食品展			
	開催年度		開催地(会場)	
	2013年度～2015年度		バンコク(サイアムパラゴン)	
	2016年度		バンコク(エムクオーティエ)	
	●専門家派遣事業			
	開催年度		開催地(都市)	
	2015年度		タイ(シーサケット群スコタイ県)	
2016年度		タイ(セーンスック群チョンブリ県)		
●地域間交流促進プログラム				
開催年度		開催地(都市)		
2013年度		タイ(バンコク・ピサヌローク)		

4.その他渡航情報		出典
入出国	30日以内の滞在であればビザは不要。	⑤
旅券の残存期間	6か月以上	⑦
日本との時差	-2時間	⑤
祝日(2017年)	1月1日 新年 1月2日 新年(振替休日) 2月13日 万仏節 4月6日 チャクリー朝記念日 4月13日～14日 灌仏節 5月1日 メーデー 5月5日 国王戴冠記念日 5月10日 仏誕節 7月8日 三宝節 7月10日 三宝節(振替休日) 8月12日 王妃誕生日 8月14日 王妃誕生日(振替休日) 10月23日 チュラロンコン大王祭 12月5日 国王誕生日 12月11日 憲法記念日	
予防接種の必要性	A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病、日本脳炎	⑪
気候	熱帯モンスーン気候	⑤
電話の掛け方	国際電話会社の番号+66(国番号)+最初の0を取った電話番号	⑦
電力	電圧は220V、50ヘルツ、コンセントは日本と同じAタイプで変換プラグなしでも日本のコンセントに差し込むことが可能。ただし、電圧は違うので、製品により変圧器は必要。	⑦
水道水	水道水は避ける。ミネラルウォーターを飲用した方がよい。	
日本からのフライト時間	直行便で約6時間	⑨

【出典】

- ①外務省HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/data.html#section2>
- ②JETROHP https://www.jetro.go.jp/world/asia/th/basic_01.html
- ③JNTO http://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/index.html?tab=block1
- ④在タイ日本国大使館HP <http://www.th.emb-japan.go.jp/>
- ⑤人口ピラミッド <https://populationpyramid.net/ja/%E4%B8%96%E7%95%8C/2015/>
- ⑥JETHPより <http://jetprogramme.org/ja/countries/>
- ⑦タイ国政府観光庁 <http://www.thailandtravel.or.jp/about/basic.html>
- ⑧JETプログラム <http://jetprogramme.org/ja/countries/>
- ⑨スカイスカナー <https://www.skyscanner.jp/>
- ⑩海外在留邦人数調査統計 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/12/pdfs/WebBrowse.pdf>
- ⑪厚生労働省検疫所HP <http://www.forth.go.jp/destinations/region/asia.html>